

## 2017 年度就職先へのグループインタビュー調査結果

本学卒業生の主要就職先である社会福祉法人（3 法人）に対して、2018 年 2 月に以下の 3 点について、グループインタビュー形式で同時にヒアリングを実施しました。

- ①新卒学生の採用に当たって着目している資質
- ②本学からの採用者の特徴
- ③採用側から見た「学修到達レポート」の有用性と改善点

以下にその結果について報告します。

### 設問①：新卒学生の採用に当たって着目している資質

回答：

(A 法人) 学生からは児童養護分野は人気が高い。しかし児童養護の指導員としての勉強をしているかという点についていえば、この仕事の本質を理解した上で希望する学生と、単純に子どもが好きで希望してくる学生では仕事が始まった後で反応が大きく分かれる。具体的には DV 等で心に傷を負っている子どもは指導員に対して暴言を吐く者も現場にはままいるわけで、この仕事の本質を理解していないと潰れてしまう場合がある。やはりどの職種に対してもしっかりと理解した上で臨んでほしい。

例えば自閉症の施設などで働くのは利用者とのコミュニケーションが難しいのが当たり前、学生時代からその辺りを深く理解している人は続く。社会福祉士の資格を取得したから相談援助のみが仕事ではなく、他方でケアマネージャーでも現場の理解がないと仕事にならないのでまずは福祉に関わる様々な職種の内容を理解してほしい。面接等でそこを見きわめている。

(B 法人) 私は社会福祉士としてソーシャルワークの仕事をしている。その立場からすればコミュニケーション能力は必須である。ソーシャルワークの仕事は地域を対象にしても、家族を対象としてもそのありようは様々であり、知識は持っていることは大前提として、これまで会ったことのないようなタイプの人に対してもやりとりできるような、対人コミュニケーションは基本中の基本で採用時には一番重要視している。自分自身振り返っても、やはり学生時代にキャンパス内の学生だけでなく多様な社会人との交わりなど、様々な経験をして視野を広げてほしい。

(C 法人) サービスの対象も従来の固定的なものから普遍的なものに広がってきており、福祉の枠を超えて地域や企業との関わりも出てきている。そのため、福祉現場だけに限らずフィールドワーク等を通じて多様な経験をしてもらいたい。

### 設問②：本学からの採用者の特徴

回答：

(A 法人) 貴学の卒業生は、優しい、まじめというイメージ。かつてに比べて福祉に対する意識、思いは少し落ちているかということも感じている。その辺りは面接等で見極めてあまりに意識が低い場合は落とさざるを得ない。3 年経って在職している卒業生は現場で大きな戦力になっている。

(B 法人) 一概にはいえないが、まじめで知識をしっかりと持っている人が多い。ただ時として福祉を自分の中で「固定概念」にしてしまうことで、現実とのギャップで続かない卒業生も存在する。

(C 法人) 社会福祉士実習でも様々な分野で受け入を行っているし、多くの卒業生が入職している。他の法人同様に、制度的な知識は豊富で「まじめ」。福祉現場で働くには少しおとなしいようにも思う。様々な経験を積むことで、物事を固定的にとらえず弾力的に理解して仕事につなげてほしい。

### 設問③：採用側から見た「学修到達レポート」の有用性と改善点

#### 回答：

(A 法人) 採用の時に履歴書を出してもらおうが大学によってだいぶ様式が違う。正課外活動も含めてこういう形で出してもらおうと面接時の判断材料になると思う。大学での成績はそれほど重視していない。見ているのはきちんと卒業していることと学生時代に色々な経験を積んでいるかという点。加えて小論文で文章力を見る。福祉現場では文章力はわりと必要。

(B 法人) あれば活用すると思う。面接といっても短時間なので客観的な資料として付けてもらえるとよい。勉強してきた内容や経験など、このレポートをもとに話を掘り下げられる。教員からの総評もこういう仕事に向いているなど、適性についてのエッセンスが入っていると配属の際の参考になると思う。

(C 法人) エントリーシートの中にこういう設問はある。成績証明書も参考にしている。それを直接採用につなげるわけではなく、面接の中で見きわめる。学修到達レポートがあると面接の掘り下げ質問につながるので参考にはなる。高校生の調査書には総評のような記述があるが、大学からも担当教員から強み、弱みなど記載してもらえると配属等にも参考になる。

以上

# 日本福祉大学 学修到達レポート

## 1.基本情報

氏名 日福 太郎 氏名カナ ニップク タロウ

学籍番号 13FF0001

学部 社会福祉学部 学科 社会福祉学科

入学年度 2013年度

## 2.正課活動の成果

総修得単位数 150 単位

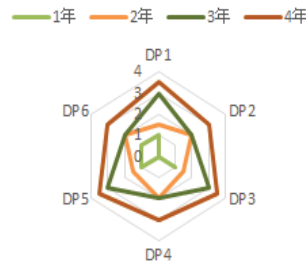
卒業論文テーマ 地域福祉における自治体の役割

取得（見込）資格 社会福祉士  
英検2級

GPA 2.5

### DPごとのGPA

|     | 1年   | 2年   | 3年   | 4年   |
|-----|------|------|------|------|
| DP1 | 1.52 | 2.11 | 1.87 | 1.79 |
| DP2 | 2.14 | 1.87 | 1.79 | 2.11 |
| DP3 | 2.53 | 2.11 | 1.87 | 1.52 |
| DP4 | 3.22 | 2.53 | 2.11 | 1.87 |
| DP5 | 2.15 | 2.11 | 1.87 | 1.52 |
| DP6 | 2.78 | 2.53 | 2.11 | 2.11 |



### 社会福祉学部 社会福祉学科のディプロマポリシー

- DP1 社会福祉にかかわる政策と実践及びその両者が連関するシステムを、社会福祉を支える価値や規範とともに理解し、社会福祉の実践に活かすことができる。
- DP2 現代社会に生きる人々が抱えている生活問題を、社会全体とのかかわりの中で理解し、問題解決に向けた実践に活かすことができる。
- DP3 様々な角度から物事を捉え、総合的に判断するための幅広い教養を備えた市民として行動することができる。
- DP4 社会福祉の学びの上に立って、職業人（企業人・教員を含む）として必要となる知識を備えて活動することができる。
- DP5 社会福祉に係る諸機関との連携、社会資源の調整、新たな社会資源の開発を通じて問題を解決する方法を判断することができる。
- DP6 地域に生じている問題を発見し、その解決に向けて新たな地域社会を開発するための方法を思考することができる。

## 3.正課外活動の成果

所属サークル 落語研究会

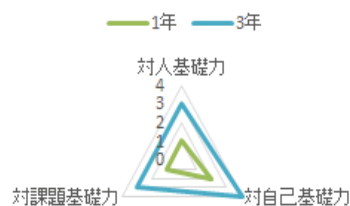
ボランティア 災害ボランティアセンター

特記事項 全日本学生落語選手権 入選

## 4. ジェネリックスキル・語学力

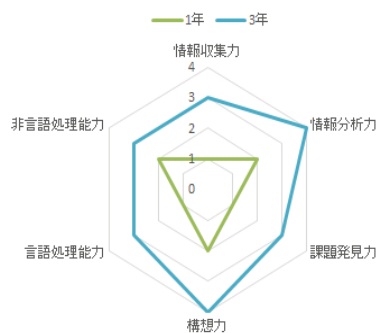
## コンピテンシースコア

|        | 1年 | 3年 |
|--------|----|----|
| 対人基礎力  | 4  | 3  |
| 対自己基礎力 | 3  | 2  |
| 対課題基礎力 | 2  | 1  |



## リテラシースコア

|         | 1年 | 3年 |
|---------|----|----|
| 情報収集力   | 2  | 3  |
| 情報分析力   | 4  | 3  |
| 課題発見力   | 2  | 2  |
| 構想力     | 4  | 1  |
| 言語処理能力  | 3  | 2  |
| 非言語処理能力 |    |    |



## 語学力

英検2級  
ドイツ語検定試験B1

## 4. 総評

入学当初から積極的に正課内活動、正課外活動に取り組む姿勢が感じられ、それが結果となっていると思います。ゼミではクラスに対して非常に難しい課題を課しましたが、クラスのリーダーとして課題を一つずつ、確実にクリアしていく様子は特筆に値し、今後社会に出た際に大きな強みになるはずです。

担当教員 福祉 花子

発行日 2017年11月1日

学長 児玉 善郎

日本福祉  
大学